

事務事業名 職員研修事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：23

施策：	02	人材育成と組織の整備	財務コード	01020102-03-00
基本事業：	01	研修の充実	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	研修が有益(満足)だと思ふ職員の割合		担当課	人事課
			担当係	人事担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象(誰、何に対して事業を行うのか)			2. 手段(事務事業の内容、やり方、手順)							
職員			人材育成、資質向上及び能力開発を目的に次の研修を実施している。 (市が独自に実施する研修) ・新規採用職員研修 ・管理監督職研修 ・女性職員研修 ・人事評価研修 ・人権問題研修 (職員を派遣する研修) ・福岡県市町村職員研修所 ・人権同和問題研修 ・各種長期県外研修 ・自治大学校 (その他) ・市職員による「自主学習グループ」に対する助成							
3. 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			研修により人材育成、資質向上及び能力開発が図られ、社会状況の急激な変化や複雑・高度化する市民ニーズに的確に対応することができます。							
研修により人材育成、資質向上及び能力開発が図られ、社会状況の急激な変化や複雑・高度化する市民ニーズに的確に対応することができます。										
4. 成果(簡易評価は未記入)										
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標	
職員が各種研修に満足している割合(職員アンケート)		%	74.9	72.1	81	81			85	
市民の職員に対する満足度(市民アンケート)		%	77	75.6	76	76			76	
5. コスト										
事業費		計	千円	5,193	4,314	6,277	7,203			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	5,193	4,314	6,277	7,203					
正職員人工数		人工	0.4	0.4	0.7					
正職員人件費		千円	3,198	3,236	5,646					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	8,391	7,550	11,923	7,203				
6. 成果状況及びコメント(簡易評価は未記入)										
あがっている	状況 第五次総合計画に伴う職員アンケートの結果、研修に「満足」又は「概ね満足」と回答した職員の割合は徐々に減少している(77.1% 74.9% 72.1%)。一方、福岡県市町村職員研修所の研修受講割合(知識・能力向上研修等の選択研修)の受講割合は増加している。(59.5% 73.5% 74.2%)									
どちらかといえばあがっている	原因 研修満足度は、研修テーマが固定化し、職員のニーズとのギャップが停滞の原因と思われる。研修受講割合は、研修内容の見直しや研修期間の短縮が図られ、職員が参加しやすくなったことが原因と思われる。									
あがっていない(停滞・低下)	課題 研修満足度については、職員のニーズを把握し、研修テーマの見直しや外部委託の検討等で研修内容の充実を図り、向上させる必要がある。									
7. 評価及びコメント(簡易評価は未記入)										
対象動向	維持	類似事業	なし	職員は研修の有用性を感じており、研修内容の充実を図ると同時に、多忙な業務の中でも研修機会を確保させる方策が求められる。新庁舎移転により、移動を伴う研修参加の負担軽減が期待できる。						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案(簡易評価は必要な場合のみ記入)						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用(維持/事業終了の場合は記入する必要なし)										
事業開始背景及び現在の環境変化(市民・議会等の要望)										
備考・特記事項 or 進行管理欄										
少子高齢化や情報化に代表される社会構造の変化、地方分権による業務の多様化・専門化、住民ニーズの複雑・高度化、ベテラン職員の退職に伴う職員の若年化、これらの環境変化に対応し、安定した行政サービスを提供し続けるためには、職員の資質向上が不可欠であり、研修の重要性が増している。										